

クシャラ・スートラ（アルカリ性の糸）

痔瘻は薬では治らず手術が必要です。これまでは、病巣を完全に取り除く手術が主体でしたが、痔瘻の場所によって、術後肛門の変形や機能障害が残ることがありました。

そこで当院では、インド伝承医学、アーユルヴェーダに記載されている、「クシャラ・スートラ (Kshara Sutra)」を改良した、国産の金沢糸1号を使用した治療を始めました。

治療法はきわめて簡単で、2次孔から原発孔に糸を通ししぼるだけで糸が徐々に組織を溶かし瘻管を肛門側に切っていきます。1~2週間に1回糸の交換を必要としますが、長い時間をかけて切っていく事と糸に含まれている成分の作用で瘻管の後壁では組織の再生が起っています。

この糸（金沢糸1号）の原料の薬草は、トウガラシチンキ+イチジクの乳液、国産のヒナタイノコズチ、ウコン末、です。

この糸は研究用として、国内の大学の研究室で作成されており、作成元に、医療現場での使用の結果については、責任はなく、あくまでも当院の医師の責任で使用します。

{元のクシャラ・スートラでは、キリンカクの樹液、ケイノコズチという草を焼いた灰を溶かした上澄み液の乾燥粉末とウコン粉末をしみ込ませてあります。キリンカクには、局所刺激作用と催炎作用、ケイノコズチには腐食作用、ウコンには殺菌作用や抗炎症作用と、異なる作用が1本の糸に仕込まれています。これらの材料の薬草のうち、キリンカクとケイノコズチは日本では入手困難なので、代用として、トウガラシチンキ+イチジクの乳液及びヒナタイノコズチを活用しています。}

時間がかかる治療法ではありますが肛門機能にはほとんど影響を与えない、原発巣の切除なしで治療可能なアーユルヴェーダ医学の優秀な治療法です。

